

第8回 市民フリースピーチ制度 協議結果一覧

1	男性	マイナンバーカードの申請について
		<p>介護保険施設に入所している母親のマイナンバーカードの申請をネットでを行い、受け取りのハガキが届いた。新型コロナの関係で、施設は面会、外出禁止であるため、代理受け取りを依頼した。必要書類を持って、市役所へ行ったところ、顔確認のため、面談をする必要があるとのこと。面談のことはハガキに書いておらず、窓口で初めて知った。結果、マイナンバーカードを受け取るまでに、市役所や施設に4回足を運ぶことになった。自分と同じケースの方がスムーズに手続きを行えるよう、面談が必要である事を窓口などで告知していただきたい。</p> <p>(対応) 正・副議長より当局へ申し入れをした。 (対応先協議結果) 担当課より、封筒にハガキと案内チラシを入れて発送するよう現在準備しているとの回答を得た。</p>
2	男性	市民による美しい街づくり運動
		<p>毎日散歩をしていると路上のごみが非常に多く、不法投棄禁止の看板が非常に目に付くので、散歩をしながらごみ拾いを行っている。その経験から、行政指導のもとに、市民によるごみ収集運動の立ち上げを提案する。</p> <p>まちの美化運動の目的、趣旨に賛同した人による自主的なごみ収集運動の立ち上げ、そして、趣旨・目的に賛同した人を作るための啓蒙運動と拾ったごみの分別方法の行政指導を市にお願いしたい。また、教育の面では、犬山の未来を背負う子供たちに、生活と結びついた環境問題とか海のプラスチックごみの問題、犬山市民憲章に基づいた郷土愛を習得する社会貢献の授業を取り入れることで、それが町の美化運動に移行し、一連のごみ収集運動につながると思う。</p> <p>(対応) 柴山議員が担当する。 (対応先協議結果) 教育現場における学校内・学校外での清掃・美化活動、犬山市のアダプトプログラムの現状については今後調査をしていく。また、発言者からの提案の中で有意義で実現の可能性を感じるものがあるため、11月定例議会で一般質問を行う。</p>
3	男性	犬山市中央児童館の今後について
		<p>本年、犬山市中央児童館が福祉会館の閉鎖に伴い、放課後児童クラブが北小に移り、児童館機能の部分が学区内にはなくなり、西又は城東などの近隣施設にての利用に変わった。校区外への利用は児童にとって大変不便で、危険も伴う。また、小学校の方では、子ども達だけで校区外へ行くことは推奨されておらず、それぞれの児童センターで子ども達のコミュニティがすでに出来上がっているところへ、新しく北小学校の児童が入っていくことは非常に困難である。安全、安心で自主性を持った遊びを提供できる児童センターを福祉会館跡地での復活、もしくは、北小隣の武道館の活用、市役所、フロイデ等施設の検討をして、学区内に作って頂きたい。</p> <p>(対応) 民生文教委員会で協議した。 (対応先協議結果) この件については、委員会内でも様々な意見が出たため、委員会として引き続き、問題意識を持って取り組んでいく。</p>
4	女性	年度途中の待機児童について
		<p>2人目の子を民間の保育園に途中入園させようとしたら、枠がなく待機児童になった。</p> <p>少子化で保育園の定員は毎年割れているのに、なぜ入園できないのか聞いたところ、4月当初の在園児の数で予算が組まれるため、途中入園で園児の数が増えても保育士を新しく雇う人件費が足りないとのこと。そこで、定員いっぱいまで入れるよう、定員定額制という仕組みを提案する。定員定額制とは、その保育園の定員に応じた予算が組まれるというもので、待機児童が解消されれば、母親や周りの家族も安心して出産、産後の時期を過ごすことができ、実際に採用している市もあるので、ぜひ犬山市にも取り入れていただきたい。</p> <p>(対応) 議員勉強会を設け、制度の仕組みを理解する。 (対応先協議結果) 10月5日に子ども未来課より犬山市の保育の現状説明を受け、待機児童や定員定額制について理解を深めた。今後は、今日(「全員協議会」10月7日開催)の話し合いも含めて全員協議会等において議員間で協議していく。</p>